

# 薬学部 医療薬学科

## 教育研究上の目的

超高齢社会において、質が高く安心・安全な医療を提供できる薬剤師を育成します。

## 薬学部が目指す人材育成 (教育研究上の目標)

薬学部医療薬学科では、超高齢化と国際化が進む日本社会のこれからの地域医療を支えるために、主体的に行動できる薬剤師の輩出を目指しています。従来の医療薬学のみならず、栄養、福祉、看護・介護、セルフメディケーションなどの幅広い専門知識と国際感覚を有し、あらゆるライフステージにある人々の健康に興味・関心を抱き、人々から信頼される、地域に根ざした薬剤師を育成します。

## 6年制教育の成果 就職・国家試験・共用試験

第97回 薬剤師国家試験（平成24年3月実施） **合格率 97.0%**

平成23年度 薬学共用試験 **合格率 99.3%**



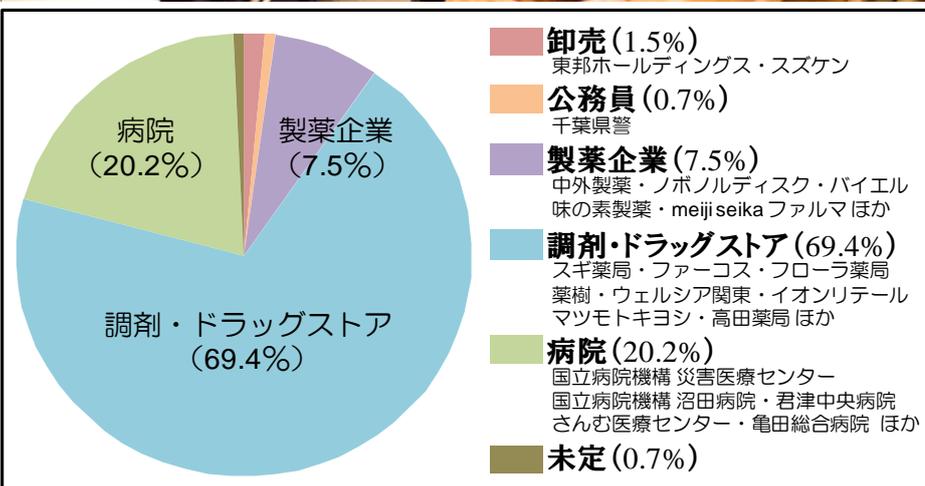
共用試験（CBT）対策の学習をする薬学4年生



共用試験（OSCE）対策の指導を受ける薬学4年生



病院実務実習に参加する薬学5年生



## 6年制教育の現状

大学入学者に対する国家試験合格率

**合格率 62.2%**

各学年で学力修得状況の程度や、医療者を目指す学生としての態度や行動を評価し、段階的に学生個々の成長を促します

**薬剤師国家試験**  
(130/134) ▼

### 薬学総合学習科目

- 1年次： 医療薬学基礎ゼミ  
薬学概論
- 2年次： 総合演習Ⅰ
- 3年次： 総合演習Ⅳ  
医療系実習Ⅱ
- 4年次： 総合演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ  
病院・薬局事前実習
- 5・6年次： 病院・薬局実務実習  
薬学特別演習  
薬学総合演習及び卒業試験

入学  
(209)



低学年次より「総合学習」を実施して  
基礎学力の定着を図る（学習支援）

「学年ごと」で着実な学力の向上

## 学習支援 学生中心主義

2012年度PCブースターメンバー



### 学生中心主義教育により

### 地域密着型医療人を育成する



JIU薬学生が運営管理する「薬卵」 雑誌MILに掲載されました  
<http://www.jiu.ac.jp/pharmacy/yakutama/index.html>

## 『教育支援センター』と『アドバイザー制度』

教育支援センター教員と学生たち



教育支援センターは、学生の主体的な学習支援を行います。入学前・導入教育、学習習慣の確立、苦手領域の克服、および魅力教育プログラムの開発など、学生生活の充実のための学習支援プログラムを提供します。

アドバイザー教員と学生



アドバイザー（担任）制度は、学生一人ひとりの適性に合わせた履修指導・学習指導のほか、大学生活全般から就職相談まで幅広く学生をサポートします。

## 魅力教育 薬学国際教育

UCR-JIU Pharmacy Internship Program 2012 参加者



外国語授業：ネイティブ教員による英語科目（1年次～）  
 海外研修制度：姉妹校である米国UCRに2週間の短期研修（3年次以降希望者）  
 薬学国際教育セミナー：各国の薬学研究者を講師に招聘  
 高学年次には、配属研究室にて英語論文指導や国際学会での成果発表を支援

## 魅力教育 薬学地域医療教育

九十九里地域医療夏期セミナー2010 参加者



九十九里地域医療夏期セミナーでは、「地域医療の最前線を知る（2010）」、「多職種協同共有（2011）」をテーマに、医療機関や地域保健行政、高齢者施設などを訪問するとともに、「地域医療の在り方」について多くの医療人や医療系大学生とディスカッションを行っています。

## 魅力教育 専門職連携教育



福祉総合学部、看護学部との「専門職連携教育」を推進しています。  
 福祉総合学部との連携教育では、合同講義をSGD形式で実施しそれぞれの専門的視点からの討議を行ったり、高齢者疑似体験を通じて高齢者支援の在り方について討議します。その他にも高齢者医療や看護、介護、栄養など地域医療に欠かせない周辺領域を学びます。

## 魅力教育 産学連携教育



本講座は、5・6年次に開講される「薬局機能特論演習」を担当し、社会環境の変化に応じた薬局・ドラッグストア業界の変遷や薬剤師の職能の拡がりについての教育や研究活動を行っています。

グローベルHDからは、本学薬学生に対する奨学金制度もご提供いただいております。

2012年4月開設 大学院 薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程（4年）